



2019年5月10日

各位

会社名 株式会社三洋堂ホールディングス  
 代表者名 代表取締役最高経営責任者兼 加藤 和裕  
 最高執行役員  
 (東証JASDAQコード番号: 3058)  
 問合せ先 取締役執行役員 伊藤 勇  
 経営企画室長  
 (TEL: 052-871-3434)

## 特別損失（減損損失）の発生及び連結子会社の繰延税金資産の取り崩し、 並びに連結業績予想の修正に関するお知らせ

この度、2019年3月期に下記の通り特別損失の発生と繰延税金資産の取り崩しが発生する見込みとなりましたので、お知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年5月11日に公表した連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の発生及びその内容

2019年3月期連結決算において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、収益性の低下が見込まれる一部店舗の建物等の固定資産について、減損損失2億87百万円を特別損失に計上いたします。

#### 2. 繰延税金資産の取り崩しとその内容

当社の連結子会社である株式会社三洋堂書店におきまして、今後の業績見通しを踏まえ、将来の課税所得の見積もり及び繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を取り崩すことといたしました。これにより、2019年3月期連結決算において、繰延税金資産1億1百万円を取り崩し、同額を法人税等調整額として計上いたします。

#### 3. 2019年3月期 連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,000	△90	△60	△300	△44.48
今回修正予想 (B)	20,400	32	63	△308	△45.72
増減額 (B-A)	400	122	123	△8	—
増減率 (%)	2.0	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	21,327	246	277	5	0.98

(修正の理由)

売上高は、主力の書店部門が予想を上回る見込みとなったため、全体では前回予想を4億円上回る204億円となる見込みであります。さらに、販売費及び一般管理は予想を下回る見込みとなるため、営業利益と経常利益は前回予想を上回る見込みとなりました。また、上記「1. 特別損失の発生及びその内容」に記載の特別損失を計上したこと、さらに、上記「2. 繰延税金資産の取り崩しとその内容」に記載の法人税等調整額を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回の予想を8百万円下回る3億8百万円の損失となる見込みです。

(注) 上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいております。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以上